

## <広瀬川通信 2月号>

NPO法人広瀬川の清流を守る会

広瀬川、雪の下からフキノトウが顔を出しました。

(「今日の広瀬川」当会hpリンク→菊地重夫氏hp・もうそこまで春が来たー) 如何お過ごしでしょうか？

先日、川柳歌人である山川万里さんから手紙が届きました。同氏が同封に寄稿された「宮城野さろん」に「広瀬川あれこれ」と題し、広瀬川や四ツ谷用水について、また本会活動にも触れ軽妙な文面で書かれていました。最初に四ツ谷用水の歴史に、伊達政宗公の時代に仙台のまち開きから現代まで先人の知恵によって生活に密着し、流れ続け痕跡とどめる北六と上杉山通り交差点に存在した四谷用水の上杉山橋の標柱。氏はもうひとつの親柱の行方を追って仙台市博物館で偶然発見されました。そのとき一緒に並んでいた一つの道標が長町1丁目交差点に今戻っていることも記述され、かつて岸田氏と長町歴史の会でこの道標を戻すことに関わったことを思い出し、つい引き込まれました。

気が付かなければ時の流れに消えてしまう小さな痕跡。しかし、その痕跡から地域の宝を見つけ出し、後世に伝えることも大切だと思います。地域の宝は意外なところに存在します。発見し、守り伝える人も宝。もっと人づくりも大切にしたいですね。そして川と街道の街づくりへ。

注)山川万里さんは、本会副代表理事の横山成紀先生



### 【報告1月】

1月 9日(土) 初歩き

広瀬橋集合(橋姫明神前) 六七郷堀散策(愛宕堰～宮城刑務所)

テーマ「六七郷堀の歴史と環境」～伊達政宗公のまちづくりと水循環～ 案内者 代表理事 日下均

寛永5年(1628年)伊達政宗公が、若林古城(現在の宮城刑務所)に造営し、寛永13年まで8年間を居城とした東西約3キロ、南北約1.5キロ周囲の大規模城。公の遺言により死後直ちに解体され、今は刑務所の改築された建物と周囲の民家やマンションが建ち、昔を偲ぶものはありません。僅かにその堀に広瀬川から取水した流れが今でも変わらず面影を映しているようでした。その後五十集屋で新年会。12名。

### 【予定2010年 2月～3月】

2月23日(火)午後7時～ 事務所 例会・議題「次年度の事業計画と予算」他

3月13日(土)午前10時～広瀬橋 長靴、軍手、ヒバサミ持参で ・参加無料 (駐車場あり)

3月23日(火)午後7時～ 事務所 理事会 議題「次年度の事業計画と予算」他

### ■ お知らせ

1 広瀬川宮沢橋上流の中州撤去工事。(仙台土木事務所 hpアップ)

治水と環境のバランス、野鳥営巣期間を考慮した冬季間(10月～3月)の整備です。

宮城県仙台土木事務所河川班(297-4154)ホームページをご参照ください。

2 広瀬橋近辺で、白鳥がまだ見られますよ。

活動に複数回参加した企業に社会貢献証明、個人に参加証明書を発行しています

NPO 法人広瀬川の清流を守る会 「広瀬川何でも相談室」受付中

Tel 022-247-6522 Fax 290-3205 [info@hirosegawa.com](mailto:info@hirosegawa.com) URL [www.hirosegawa.com](http://www.hirosegawa.com)

掲示板書き込み・メール・質問、お便り大歓迎。〒982-0011 仙台市太白区長町1丁目2-16-201(昭和宅建内)

会 員 募 集 (法人年会費1万円・個人年会費5千円)